

652
18.5.9

大阪教組ニュース

発行所=大阪府教職員組合
(日教組)/〒543-0021大阪市
天王寺区東高津町7-11大阪
府教育会館4階412号/TEL
06-6765-1558 FAX06-6765-
1268/発行責任者=石田精三
/編集責任者=韓秀根

改憲反対の世論を広げよう

安倍9条改憲NO!
憲法を生かす全国統一署名

第1次集約 5月18日
第2次集約 6月15日

2018 大阪教組教研 全体会



講師：稲垣えみ子さん
(ジャーナリスト・元朝日新聞記者)

6月30日(土)
エル・シアター

開場:12時30分
開会:13時
終了:15時30分

入場無料
保育あり
※保育は事前申し
込みが必要です

私の「セルフ革命」

成長しない時代をハッピーに生き抜く

沖縄平和行進結団式

沖縄に学ぶ 沖縄を学ぶ



「沖縄戦の記憶を継承するために、自分のことばで伝えることが大切だ」と語る藤原健さん

当事者性を獲得し、自分が語れる平和行進にしよう!

5月7日、たかつガーデンにおいて沖縄平和行進結団式を行った。学習会では藤原健さん(琉球新報社客員編集委員)が「沖縄に学ぶ 沖縄を学ぶ」と題して講演。参加者を代表して橋本佳祐さん(大阪教組青年部)、山中理恵子さん(大阪市教組)が決意表明した。

5月7日、たかつガーデンにおいて「沖縄平和行進結団式」を行った。

冒頭、石田中央執行委員長は挨拶で、「大阪教組はこの平和行進を、次世代に継承する意味からも、『運動の大きな柱』とこれまで位置づけてきた。参加される皆さんには、大阪教組運動の次の担い手としての活躍に強く期待している。大阪に帰ってきた後には、子どもたち、そして職場の仲間、自分の言葉で、見たこと、聞いたこと、感じたことを語って欲しい」と述べた。また、辺野古新基地建設の問題について「すでに1997年12月に行われた名護市における住民投票で決着がついた問題。これまで仲間と共有してきた、平和への思い、組合への思いをつなぐことが、私自身の責任だと思っている」と語った。

続いて琉球新報社客員編集委員の藤原健さんに、「沖縄に学ぶ 沖縄を学ぶ」と題して講演していただいた。藤原さんは冒頭「無視せず、関心を持ち続けて忘れない。それが人と人をつなぐ大きなキーワードだ」とした上で「沖縄戦を、はるか昔に終わったことだとして、今の沖縄の現状はない。歴史的経緯を読み解くことが必要だ。沖縄の現状を見つめ直すと、複雑そうだがシンプルに見えてくる」と語った。また「軍隊は住民を守らない」「人が人である」というのが沖縄戦で沖縄の人々が感じた事実だ。基地問題というのは、単なる迷惑施設の問題ではない。合法的に殺人訓練を受けている人たちがいる場所の問題だ。なぜ沖縄に米軍基地が集中しているのか、なぜ軍人軍属の犯罪が後を絶たないのか、という問いが人々を悩ませている。基地問題というのは、単なる迷惑施設の問題ではない。合法的に殺人訓練を受けている人たちがいる場所の問題だ。なぜ沖縄に米軍基地が集中しているのか、なぜ軍人軍属の犯罪が後を絶たないのか、という問いが人々を悩ませている。

「『働く仲間がこの日に集い、働く者の権利を求め、団結と連帯を誓い合った』とメーデー宣言を読み上げる寺島連合大阪女性委員会副委員長

第89回大阪地方メーデー

働く者のための働き方改革を実現



寺島連合大阪女性委員会副委員長



山中理恵子さん(大阪市教組)

「『働く仲間がこの日に集い、働く者の権利を求め、団結と連帯を誓い合った』とメーデー宣言を読み上げる寺島連合大阪女性委員会副委員長



橋本佳祐さん(大阪教組青年部長)



決意とともに記念撮影(茨木市教組)

組合員100人増やそう運動展開中!



自分たちの未来を
他人まかせにしない
だから組合

5月1日、第89回大阪地方メーデーを大阪城公園で開催。「働く者のための働き方改革」「あらゆるハラメントを許さない」「長時間労働を是正」「平和・人権を守り、多様性を認め合う社会へ」などのメッセージボードを掲げた。メーデー宣言は寺島連合大阪女性委員会副委員長(大阪教組副委員長)が読み上げた。メーデーとは?

米国の労働者が1日8時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことが起源で、5月1日を労働者の祭典とした。

最後に、参加者が学習会の感想や平和行進に参加するにあたっての決意を書き、単組ごとに記念撮影をした。ピースアクション2018・5・15沖縄平和行進は、5月11日、13日に行われる。大阪教組は今年も青年部を中心に、約70名で参加する。

続いて、平和行進団長の寺島副委員長から、行程などの説明があり、参加者を代表して2人から決意表明があった。大阪市教組の山中理恵子さんは「子どもたちを再び戦場へ送らない」という日教組のスローガンの意味を大切にしたい。私も戦争に加担したくない。戦争をなくすために、私にできることを続けていきたい。大阪教組青年部長の橋本佳祐さんは「沖縄の現状について、子どもたちも本当のことを知りたいと思っている。現地で感じたことを、ぜひ仲間や子どもたちに伝えよう」と、思いを述べた。

教え子を再び戦場に送るな

5・3おおさか総がかり集会

安倍内閣退陣！いのちとくらしと人権を守ろう！



「憲法をこわすな！」のプラカードで扇町公園を埋め尽くした。

安倍9条改憲を許さない！

力も大きい。一人ひとりが集まって大きな力になる。誰一人として欠けてはいけない」と連帯のあいさつをした。

また、集会では司会者から改憲を許さないための署名名が約1350万筆集まっているという報告と更に署名運動を呼びかけようと呼びかけた。

最後に、「憲法こわすな！」「9条を守れ！」のプラカードを高々と掲げ、集会宣言では、「安倍政権を退陣させ、命とくらしと人権が守られる社会の実現に向けて、さらに運動を大きく前進させること」を参加者全員で確認した。

「安倍政権は今すぐ退陣！」「捏造隠ぺい許さない」

一人ひとりが集まって大きな力になる

5月3日、扇町公園で「安倍内閣即時退陣！いのちとくらしと人権を！安倍9条改憲許さない！」をスローガンに、市民団体、労働団体2万人が抗議集会を行った。大阪教組は、退職者会とともに、集会・パレードに約3000人が参加した。

主催者あいさつに引き続き、各政党議員がアピール

みずおか俊一

しゅんいち

第25回参議院議員選挙
予定候補（比例代表）

教育、くらし、平和
希望ある未来を
子どもたちに！

日教組は第107回臨時大会で、第25回参議院選挙でみずおか俊一さんを日政連予定候補とすることを決

めた。みずおかさんは、兵庫県の元教員で兵庫県教組の組合役員を経て参議院議員（兵庫選挙区）を2期つとめた。第24回参議院選挙で惜敗したが、第25回参議院選挙では比例区・立憲民主党から出馬する予定。

憲法を生かす全国統一署名3000万筆をめざし引き続きとりくもう

大阪教組は、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名（1次締切5月18日、2次締切6月15日）」



「安倍政権の退陣させ、9条改憲を阻止しよう」とあいさつする米田彰男さん（1000人委員会共同代表）

を各単組に要請している。引き続き、平和フォーラム・戦争をさせない1000人委員会・大阪、大阪平和人権センターと連携し、改憲を許さないため、更にとりくみを強化する。ともにがんばろう。

リバティ
おおさか
「特別展」

絵図と被差別民

都市大坂のコスモロジー

大阪人権博物館（リバティおおさか）は5月17日から8月30日にかけて、第73回特別展「絵図と被差別民―都市大坂のコスモロジー―」を開催する。

江戸時代に描かれた絵図（古地図）の中で、都市の景観を映し出す絵図には、古文書だけでは分からない豊富な情報が盛り込まれており、そこに住む人びとの日常生活を彷彿とさせてくれる。絵図はまさに時代

代の証人であり、歴史を知りうえる貴重な存在だ。いっぽう、身分制度を明確に反映した記載も多く含まれている。特別展では、被差別民の記載について歴史上の事実として、そのまゝ展示公開し、それぞれの解説文において、その意味を説明している。江戸時代の大坂を描いた絵図を通して、城下町大坂に生きた被差別民の姿に迫ろうとする展示だ。

本の紹介

「特別の教科 道徳」ってなんだ？

特別の教科
道徳
って
なんだ？



宮澤弘道・池田賢市

現代書館

6月9日の授業と集団づくり連続講座の講師である池田賢市さん（中央大学文学部教員）と宮澤弘道さん（道徳の教科化を考える会、公立小学校教員）編著の書籍で、子どもの内面に介入しない授業・評価の実践例を掲載している。現代書館から発行されている。

第1部の現状分析編では、内容項目が違っていたり、

道徳教育は「その時代時代の国家体制を維持するための道具」であり、いっぽう人権教育は「普遍性があり」「その人が人として生きられるかどうかが大義」であると両者の違いについて記述している。

第2部の授業実践編では同じ教材でも出版社により、

問い合わせは各単組へ。

▼期間：18年5月17日～8月30日▼開館日、開館時間：月曜～日曜、10時～17時▼入館料：無料

セクハラ・パワハラ問題が、世間を賑わせている。前事務次官は、未だにセクハラを認めず、謝罪もしていない。韓国で話題になっているパワハラ問題では、ニュースで見ているだけでも、強い恐怖を感じた。大人も人権教育を学ばなければならぬと感じた。（く）

夢 夢 夢

2018年

授業と集団づくり

今、「道徳」の授業を考える

子どもの「内心」に介入しない

「道徳」の授業について考える学習会です。

第1回 講座

講師 池田賢市さん

(中央大学文学部教員)

2018年6月9日(土)

13:30～16:30

場所 リバティおおさか

研修室②

参加費 1000円

(組合員は無料です)

参加申し込みは各単組まで

主催 大阪府教育文化総合研究所 後援 大阪府教職員組合



すべては子どもたちのために